

・・・もし千葉市が給料収入500万円の家庭だったら・・・

市の財政と家庭の家計ではしくみが違いますが、分かりやすくするために、令和4年度一般会計予算を家計簿に置き換えてみました。

なお、令和4年度の市税を給料500万円として作成しています。

《 ちばしの家計簿 》

日常的な収入
合計1,020万円

収入	R4	R3	R4-R3増減
給料(市税)	500万円	468万円	32万円
パート収入(使用料・手数料など)	71万円	72万円	△1万円
親からの仕送り (国庫支出金・地方交付税など)	422万円	392万円	30万円
友人から返ってくるお金 (中小企業資金融資預託金収入)	27万円	37万円	△10万円
借入金(市債)	156万円	164万円	△8万円
貯金の取り崩しなど(繰入金)	27万円	15万円	12万円
合計	1,203万円	1,148万円	55万円

支出	R4	R3	R4-R3増減
食費(人件費)	240万円	242万円	△2万円
生活費(物件費・補助費など)	195万円	178万円	17万円
医療費(扶助費)	294万円	288万円	6万円
自宅の修理代(維持補修費)	23万円	22万円	1万円
車・土地の購入代(普通建設事業費)	156万円	112万円	44万円
子どもへの仕送り(他会計への繰出金など)	138万円	137万円	1万円
借入金の返済(公債費)	125万円	127万円	△2万円
貯金(積立金)	5万円	5万円	0万円
友人へ貸すお金 (中小企業資金融資預託貸付金)	27万円	37万円	△10万円
合計	1,203万円	1,148万円	55万円

※借入金及び貯金 (R2年度末現在)

借入金の残高 (市債・債務負担行為残高)	2,204万円
貯金の残高(基金残高)	80万円

令和4年度は、給料や親からの仕送りが増えた結果、日常的な収入は1,020万円となりました。また、支出は、食費などを節約しましたが、車・土地の購入代などが増えたため、1,203万円となりました。

そのため、貯金の取り崩しを前年より増やし、なんとかやりくりしました。